

代 表 者

田中

研 修 報 告 書

令和4年 // 月 // 日

会 派 代 表 者 様

呉市議会議員 田中 みわ子

次のとおり研修に参加したので報告します。

1. 研修期日

令和4年10月28日(金)～29日(土)

2. 研修項目

日本女性会議2022 in 鳥取くらよし

3. 参加議員

田中 みわ子

研 修 報 告 書

令和 4 年 12 月 23 日

呉市議会議員 田中 みわ子

次のとおり研修に参加したので報告します。

1. 研修期日

令和 4 年 10 月 28 日（金） 11：00～17：30

令和 4 年 10 月 29 日（土） 9：00～15：40

2. 研修項目

日本女性会議 2022 in 鳥取倉吉

～「誰もが共に笑顔になれる夢ある未来」に向けて～

3. 参加議員

田中 みわ子

研修団体及び講師

日本女性会議

内閣府男女共同参画 岡田恵子局長

俳優・タレント 上地 雄輔

元大関琴奨菊 秀ノ山親方

【研修目的】

私たちは全ての人々が、性別などにかかわらず笑顔になれる社会の実現をめざすSDGs 17項目の実現をめざすことにある。根底にある基本理念は、「誰一人取り残さない」ということである。

この観点から、誰もが笑顔になれる明るい未来実現のために、活動を受け継いでいく、広げる活動をする。

【研修内容】

1 日目 基調報告

内閣府男女共同参画 岡田恵子局長

全ての人々が個性や多様性を大切にされる社会の実現に向けて 50%をめざすために

- ・男女賃金格差が続く社会実現のきっかけとし活動する力とする
- ・性犯罪・性暴力など女性が尊厳と誇りをもって生きる
- ・コロナ禍での男性の育児参画
- ・企業での女性の職場拡大 を官民ともに進めると提案された。

分科会 SDGs

～未来創造コンテスト～高校生が夢をかなえる第1歩～

SDGsに向けた高校生の未来創造コンテストを7チームが発表した。SDGsは未来につないでいく、そのために高校生として明日から何をすべきか、どう行動に移すかということをもとに、未来を担う高校生の若々しい、しかし、深い活動の発表であり、考えさせられるものであった。

『地域活性戦隊～6レンジャー』鳥取県立倉吉東高等学校

地元の未来像をもとに6人が主張した。

6人のレンジャーが少子高齢化、人口減少、自然も減少する鳥取に何をするのか

6レンジャーの主張は

- ・砂丘など自然が豊か
- ・食べ物がおいしい
- ・人が温かい
- ・大山登りやスキーも出来るぞ

住みたい、生きたいように生きる未来像を主張した。

アドバイス 上野 千鶴子 米谷 正児

住みたい、生きたいように生きる。なぜ鳥取に住みたくなるのかを考えるきっかけにしたことは素晴らしい。その具体を明らかにしていった点は素晴らしい。しかし、現実からどう変わるかという視点を付け加えるともっと充実した意見になる。

『倉吉広域緑化団』鳥取県立倉吉西高等学校

「グリーンカーテンプロジェクト」を作り、SDGs目標達成のために、各家にグリーンカーテンを設置することを推進していき、加えて、森林減少を阻止し地球温暖化をストップさせる。

① 自然の大切さ ② CO₂排出減 ③ 地域の絆 によって実現していく。

メリットは、グリーンカーテンによって外気温は2度下がる。グリーンによって落ち着く。

デメリットは、設置準備と地域の人々の協力が必要であること。水やり、肥料の問題がある。

しかし、私たちのまちの為に、地球の為に脱炭素に向けた活動をすることは必要である。

アドバイス 上野 千鶴子 米谷 正児

自分から始めよう小さなことという。

低酸素と脱炭素は違う。その違いを明らかにすること。

エアコンがない環境ならできる可能性があるが、そのことを頭に入れて進める必要がある。

ヘチマかキュウリ、ゴーヤでもいいのではないかな。実践エビデンスを明らかにすると深みができる。

『Kural Love』鳥取県立倉吉西高等学校

地域の人口減少に挑み、観光客を商店街に誘導する。白壁土蔵のお店をメインに交流人口を増やすため、見やすい短い動画配信をした。① 食事がおいしい ② 古き良き景観がある ③ 何をするにも快適 をアピールするためインスタグラム、ホームページで紹介していく。

アドバイス 上野 千鶴子 米谷 正児

神奈川・川崎市では2500万回視聴されているが、動画には文章を入れていない。広報にはそのような工夫がいる。

景観保存には、自治会・行政と連携して行う視点と外国人も視野に入れること。

『田舎の女子高生』鳥取県立倉吉西高等学校

LGBTを取り巻く環境を、YouTuberのとうあさんをきっかけに13人に1人と言われる人の生き方を認める社会の実現をめざす。

本当の自分でいられる社会実現の壁は何か、どう改善できるか、トイレなど困ったことは何かを若者視点で明らかにした。

アドバイス 上野 千鶴子 米谷 正児

動機が明らかにされると、より自分にとって切実な問題として捉えられる。自分の内にある性差別の考え方はないのか。

大井町ではジェンダートイレがある。考えていけば、実現できることが増える。

『#未来発見』鳥取県立倉吉西高等学校

中部地域の里山に人口減少、少子高齢化の中にあっても ①豊かな自然 ②豊かな食 ③おいしい水がある。パタゴニアで故郷を救うための未来をという観点で、里山を山・川・海それぞれをどう生かすか、アクションを考えた。

アクション：観光客は最高の移住候補者

アクション：空き家活用

アクション：地産地消 牛乳の利用1位を生かす

アクション：芸術家支援 日常にアート

アドバイス 上野 千鶴子 米谷 正児

観光客は移住者という発想の中で考えたことは素晴らしい。どこでもやっていることを、自己満足度を高めるものにしていけば地域は変えられる。変わる。住みたい、生きたいに繋がるいい発表でした。

ワクワク楽しい仕組みという文言が引きつけた。

『チーム青パイヤ』鳥取県立倉吉農業高等学校

青パイヤは ①手間いらず ②地域が6次産業化 ③栄養価の高い特産品となる。

販売方法としては、宣伝文句にポリフェノールが含有している、サラダ天ぷらカレーなどのレシピをつけて工夫した発表であった。

アドバイス 上野 千鶴子 米谷 正児

ブランド名に青春パイヤとは若者らしい発想であったと思う。また、レシピを対話による販売方法はよかった。

『スープはるさめ』鳥取県立倉吉総合産業高等学校

食品開発でSDGsをする。「おもしろそう」を狙う。鳥取の良さを、魅力をSNSで知ってもらう。

- ① カレー大国である
- ② 規格外の食材を生かす
- ③ どの食材でも組み合わせる

地産地消にも貢献する「カレー好きな人に愛される」ことに徹するとした発表であった。

アドバイス 上野 千鶴子 米谷 正児

- ① カレーパンなど多くの種類を考えること ②値段をどうするか ③また食べたいと思う味を研究する ④容器をどうするかなどの課題を解決することで、もっと広がると思う。
- 大半の人はカレー大好きだから長期間続くと思う。

2日目

講演（トークショー）

俳優・タレント 上地 雄輔

元大関琴奨菊 秀ノ山親方

すべてのことは10年で変化する。ターニングポイントだと思う。夢の実現は運と手をつなぐことで実現する。その運は自分の努力のごほうびである。だから叶うまで小さな目標を立てて一步一步イメージを持ち前に進もう。

人は一期一会の縁が大切である。次に会うときは新しい空間を作りましょう。

人と比べず、自分には自分の良さがあることを信じましょう。

誰かが喜んでくれる。そう信じて自分のゲームとして自分にできることを行うこと。

秀ノ山親方

相撲も、地位も名誉も土俵上であって、土俵を離れると自分は、ピラミッドの底辺に位置する。だから皆を支える自分でありたい。

上地 雄輔さん

自分の人生をゲームにしましょう。野球のゲームも 9 回までである。そこまで努力すること。最後まで夢が叶うまで戦うこと。努力すること。

夢実現のためのゲームを楽しむこと、そのための努力をしようという内容であった。

2 日目 分科会 災害時の避難行動 要支援者について

「避難行動要支援者について知る～あなたの近くの支援が必要な人へ、いざというときに…～」

社会福祉法人リンク 理事長 永田 拓

だれもが共に 笑顔になれる夢ある未来

生後 7 か月でてんかんとリー脳症と診断された医療的ケア児と災害を通して出会う。

災害が起こった時、「医療に必要な電源がないと死に至る」と訴えてきた母親との出会いによって弱者の救済こそが、全ての人の救済につながると知った。その中で障害者の知識を知ることから始めていくことになった。内閣府では平成 29 年の調査で実に 83% の人が差別はあると回答した。

「生きづらさを抱えた方—障がい者—」に会って感じたことは、

- ・自らに必要な情報を得る機会に恵まれず、自分の知りえる情報や経験で暮らした
- ・権利を行使できない事実。不平等な暮らしを提供してきた社会的な責務をどう考えるのか

「超高齢社会の中で障がい者は子どもをどう守れるのか」

- ・家族と同居の障がい者をどのように受け止め、支えていくのか。
- ・親亡き後の障がい者をどう支えるのか

NHK ニュースウォッチ H30. 10. 5

- ・今私たちは何をすべきか他人事ではない
- ・官民一体でないと防げない
- ・地域や社会が悪い
- ・備えることから逃げてはいけない
- ・だれもが暮らしやすい社会の構築

『個別避難計画』の重要性を訴えたこの番組は障がい者だけの問題ではなく、自分のこととして捉えよう。他人ごとではないと訴えるものであった。

人と人がつながらなければ分かり合えない。思いはあってもつながっていけない。コロナ禍では特に「どう？」という何気ない言葉の交流が無くなったと思う。

そこで支えあいマップを作ることにした。この支えあいマップは、単に地域の災害マップを作るのではなく、地域のことを話し合うなかで目的がある。日ごろからのつながりや支えあいを考えるものにしていくという発表であった。防災のパンフレットは資料 1 として付ける。

【呉市での展開の可能性】

- ・SDGsを進めるためにも、次代を担う子どもの考えをより具体化するため、多世代交流の場を作る
- ・呉市の、自治会で地域の支えあいや閉じこもり・孤立防止の対策をさらに広げ、進化した伴走型の支援を具体化させる。
- ・災害時の避難に対して弱者に対する支援の幅を広げ、他県のように補助制度を充実させる。
- ・委託事業の生活支援体制整備事業の具体化に支援に予算をつけることにより深化させる。

*鳥取倉吉市では、支えあいマップ作りに

- ① 支援者対策促進事業に住民組織に5万円
- ② ステップアップ事業 支援補助金10万円など人と人をつなぐ大切にしたい予算が制度としてある。

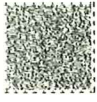
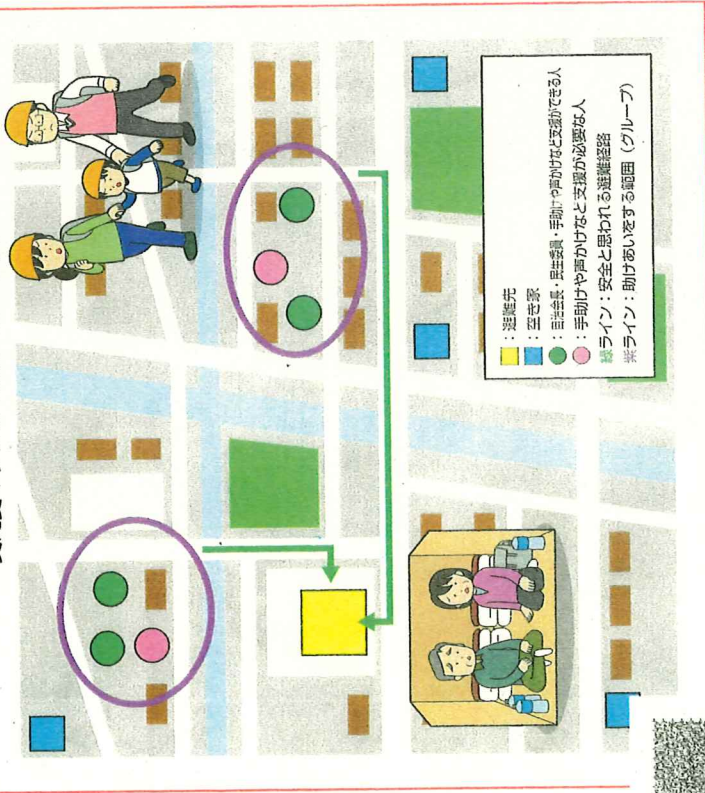
資料2 呉市での取組 (社会福祉協議会)

支え愛マップって？

支え愛マップとは、災害時に誰かの手助け・声かけを必要とする人、声かけができる人、避難先など、一連の情報を盛り込んだ地図のことです。

支え愛マップはつくることだけが目的ではなく、地域のことを話し合う中で、『日ごろからのつながり・支えあい』を覚えてもらうことを大切にしています。

支え愛マップづくりのイメージ図

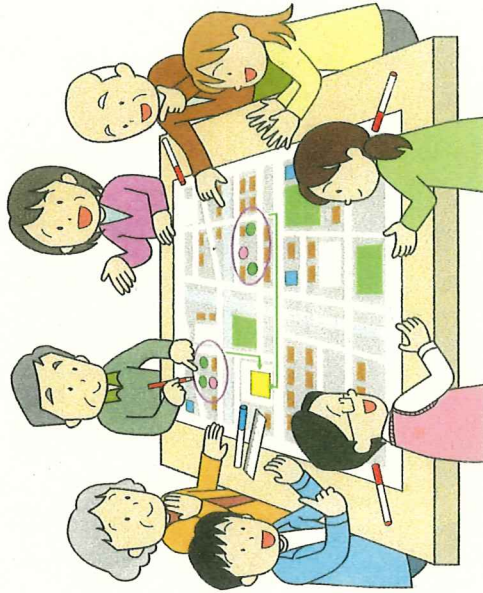


音声コード Uni-Voice

防災×福祉

“災害時”の支えあいを、“いつも”の支えあいに

支え愛マップづくり



このパンフレットには、「Uni-Voice」を印刷しています。各ページの音声コードをアプリで読み込んでいただくことで音声がかかります。

音声コード Uni-Voice

社会福祉法人 鳥取県社会福祉協議会

支え愛マップづくり等を支援する補助金制度があります(自治会向け)

はじめてマップづくりに取り組み

災害時要支援者対策促進事業

- 支え愛マップづくり
 - 避難訓練の実施
 - 研修会・講演会の開催など
- (補助金活用例)
 ・支え愛マップづくりのために必要な地図やマーカーなどの消耗品
 ・避難支援のためのリヤカー、担架など

補助限度額

1 住民組織あたり 5万円以内

前年度までに「わが町支え愛活動支援事業」もしくは「災害時要支援者対策促進事業」の補助金を受けたことのない住民組織が対象です。

マップの見直し・さらなる取り組み

災害時要支援者対策ステッパーアップ事業

- 住民による「地域支え愛会議」の立ち上げ、運営
支え愛マップづくりで、明らかに変わった地域の課題を話し合う
 - より実践的な訓練などの実施
高齢の方、障がいのある方、子どもがいるお宅など、支援が必要となる世帯の特性に応じた避難訓練の実施
- (補助金活用例)
 ・支え愛マップづくりのために必要な地図やマーカーなどの消耗品
 ・避難所の備品(ブルーシート、毛布、発電機など)

補助限度額

1 住民組織あたり 10万円以内

すでに「わが町支え愛活動支援事業」もしくは「災害時要支援者対策促進事業」の補助金を活用され、次のステップを行う住民組織が対象です。

支え愛マップづくりのながれ

- ① まずは、お近くの社会福祉協議会に相談
- ② 支え愛マップづくりの説明・自治会での打合せ
- ③ 地域のみんで「支え愛マップ」づくり
支え愛マップづくりの準備物(例)
 ・マップ作成用白地図(社協に相談ください)
 ・油性マジック
 ・丸シール ※詳しくは社会福祉協議会まで

④ 支え愛マップの活用とその後の取り組み

- 見守り活動・支え愛活動
 - 地域支え愛会議
 - 避難訓練
- 支え愛活動とは・・・
 普段の暮らしの中であつたこととして困りごとを助けあうこと
 地域支え愛会議とは・・・
 みんなで定期的に集まって、地域のことを話し合う場のこと

支え愛マップづくりから生まれた声

参加者の声

- 声かけしてくれる人とすく避難ができるように私も準備しておきたい
- 災害が起きたら怖い、誰か来てくれたらうれしい
- 高齢で元気な人もいれば、若くて心配な人もいた
- 災害時だけではなく、日頃から声をかけをしたい
- 普段から気軽に集まれる場所があつたらうれしい
- できることから少しずつ取り組んでみたい!

その後の取り組み事例

地域での交流

支え愛マップづくりと避難訓練をしたところ、幅広い世代から参加があり、あまり交流がなかった世代間にも支え愛の気持ちが生まれ、サロン活動がはじまりました。

また、市内を運行するバスを利用し、自治会内の高齢者が集まって買い物を楽しむ「買い物ツアー」もはじまりました。



音声コード Unit-Voice

YouTubeで公開中

支え愛マップづくりと支え愛マップの活用

支え愛マップづくりとその活用

- ★智頭町中原地区での取り組み
- ★信誓町添谷地区での取り組み



<https://www.youtube.com/watch?v=HdYnCuT09w>

感染対策をして取り組む支え愛マップづくりの動画

- ★南都町上鴨部地区での取り組み



https://www.youtube.com/watch?v=d8YGD_V2V_0

鳥取県の水害イメージ動画

浸水シミュレーションCG動画

- ★鳥取県の川の水がふれ出たら...
～あなたは避難できますか～



<https://www.youtube.com/watch?v=UCpk2MR8Gao>



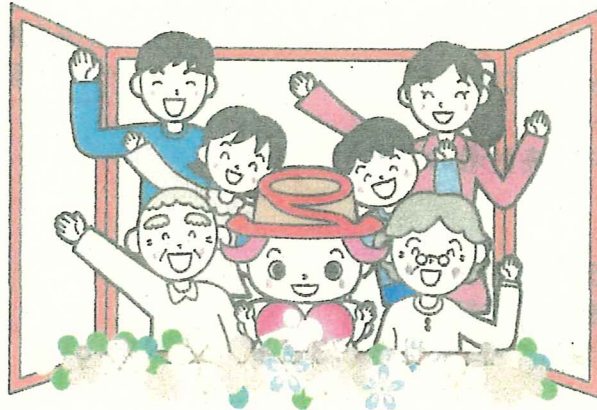
音声コード Unit-Voice

社会福祉法人 鳥取県社会福祉協議会

〒689-0201 鳥取市伏野 1729-5 県立福祉人材研修センター内
 TEL 0857-59-6332 FAX 0857-59-6340

令和4年11月15日(火) 資料
呉市社会福祉協議会作成

“お互いさま”の地域づくり



社会福祉法人呉市社会福祉協議会
地域福祉課 生活支援グループ

平成28年からスタートした取組

生活支援体制整備事業

歳を重ねても 住み慣れた地域で
安心して 暮らし続けられるように！

地域の中に話し合いの場（協議体）をつくり、地域の皆さまと福祉専門職がチカラを合わせて“お互いさま”の地域づくりを進めています。



平成28年からスタートした取組 *市の委託事業*

生活支援体制整備事業

歳を重ねても 住み慣れた地域で
安心して 暮らし続けられるように！

自治会と福祉専門職

地域の中に話し合いの場（協議体）をつくり、地域の皆さまと福祉専門職がチカラを合わせて“お互いさま”の地域づくりを進めています。



話し合いの場（協議体）の役割

第1層協議体

呉市全体の福祉を考える場

- ◆ 各地区の取組状況を共有
- ◆ 呉市全体に係る地域福祉について協議を行う場

連携

第2層協議体

地域の福祉を考える場
（地区自治会連合会単位）

- ◆ 第3層協議体の取組状況を共有
- ◆ 他地区の取組状況を共有
- ◆ 地区全体に係る地域福祉について協議を行う場

連携

第3層協議体

地域課題やニーズをつかみ新たな一歩を踏むだす場
（単位自治会やサロン単位）

- ◆ 自治会内の地域課題や将来像を共有
- ◆ 地域課題の解決策や改善点、新しい企画などを協議
- ◆ 自治会の目指す‘まち’の姿の実現に努める場



*←27年呉市は
できている
（困っていること）*

呉市では
第3層を重視！
ボトムアップを
目指す！

共有

交流から見守り、そして支え合い



支え合い 3階

支え合い(生活支援)

日常生活での困りごとへの支援を・お互い様
=買い物支援、家事支援、除草 等



見守り 2階

見守り(気づき・発見)

一人一人を大切に・孤立させない
=見守り活動、ひと声運動、見守り会議 等



交流 1階

交流(参加・つながり)

地域住民がつながる居場所・信頼関係をつくる
=サロン、会食会、ふれあいの広場、居場所 等



❖ 地域福祉とは…

『みんなが地域づくりに関心をもって参加できる
仕組み』をつくるための取組。

誰もが直面する可能性のある生活上のさまざまな
悩みや困りごとを“他人事”ではなく“我が事”と
してとらえることで、地域の中で“お互いさま”の
気持ちをもって「助けたり」「助けられたり」する
『互助』のつながりを強めて、活かすことが大切
です。

地域福祉に必要な自助・互助・共助・公助

～これからは、「互助（支え合い）」が大事～

自助

自助努力

自分のことは自分でする
自らの健康管理等

互助

住民同士の 支え合い

住民組織の活動
近隣住民による支え合い活動
ボランティア活動

共助

制度化された 相互扶助

医療保険や介護保険
年金などの
社会保険制度及びサービス

公助

法律や制度に 基づくサービス

高齢者福祉事業
生活困窮に対する生活保護
人権擁護・虐待対策等

「遠くの親戚より 近くの他人」

(意味) いざというときに頼りになるのは、
遠く離れて暮らす親戚ではなく、
近所に住んでいる他人である



ご近所さんとのつながり

「出来る人が・出来る時に・
出来る範囲で・決して無理をしない」